

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	りの			
○保護者評価実施期間	2026年1月15日		～	2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2026年1月15日		～	2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月24日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ルールを守りながら集団の中で行動することで学校生活や社会に出てから必要になることを学び、社会性が身につく。	未就学児から大人までの幅広い年代と関わることで、それぞれの役割や関係づくりの相互作用が見込まれるようサポートしている。	会議やミーティングを通して利用者の特性についての知識を深め、さらに子供に寄り添った療育が提供できるように職員間で情報共有をしていく。
2	土曜や長期休みに行う調理実習。	一緒に食材をさわり調理することで食品に対する興味や、作る工程の理解、食べることの楽しさにつながっている。	嫌なものや、食べたこないものに対しても一緒に調理したりすることで興味や関心が持てるようにしていきたい。
3	運動・音楽・おやつ作り・買い物練習・レクリエーション等の通常行う活動の他に、節分、いちご狩り、ハロウィン、みかん狩り・クリスマスといった季節の行事やイベント、お誕生会といった活動を実施している。	成長・発達に合わせた難易度や設定を考えて内容を構成している。	季節の行事やイベントは継続しつつ、飽きることの内容に変化を持たせる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員一人一人の養育力・専門性の向上など事業所全体での底上げが必要である。	研修を行ったり、行ってもらう際に事業所内の職員が不足してしまうために頻りに研修していく機会を取りにくい。	研修を通して理解を深めるとともに個々のスキルアップを図るようにする。研修を行えるくらいの人員を確保していきたい。
2	職員の支援に対する意識のばらつきがある。	職員の支援に対する意識の違いにより利用者の課題に対してのアプローチにズレや課題が生じることがある。	職員間での共通理解を深められる場を設けるようにし、十分な話し合いや事前準備ができるように体制を整えていく。
3	事業所内での取り組みに関する情報共有。	事業所内発信が弱く、特定の職員への負担が偏る傾向が見られる。	特定の職員への負担が偏らないように職員育成を行っている。